

[03_02]情報処理教育広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6767914>

出版情報：情報処理教育広報. 3 (2), 1980-11. Educational Center For Information Processing,
Kyushu University

バージョン：

権利関係：



アンケートの調査結果について

宇津宮 孝 一*

1. は じ め に

センターでは、去る9月、以下に掲げる依頼文書を用意してアンケート調査を実施した。調査の目的は文書中に示しているとおり主として、次の2点

- (1) 当面のセンター運営の改善
- (2) 学内における情報処理教育の進展と専門教育科目への計算機利用の浸透に対処できる将来計画の立案と実施に対して、学内の幅広い意見をきくためであった。

ここでは、回収後日も浅く早急に結論を呈示できないことも多かったので、とりあえず寄せられた回答の集計結果と意見等を列挙し、既に対応策を考えている事項についてのみ当面の措置を述べ、今回の報告としたい。

昭和55年9月10日

各 位 殿

情報処理教育センター長
吉 田 将

アンケート調査について（依頼）

本センターでは学内関係各位のご尽力により、本年8月念願の建物が完成し、これに伴い最新鋭の教育設備も導入され、ここ当面の教育需要に対応できる施設となりました。

しかしながら、真に学内共同利用の教育施設として機能するためには、センターの運営の改善、及び学内における情報処理教育の進展と専門教育科目への計算機利用の浸透に対処できる将来計画の立案と実施が是非とも必要です。

この度、上記の事情により学内の幅広いご意見をおきするため別紙のとおりアンケートを用意しました。ご多用中とは存じますが、この主旨をご理解の上、下記の要領で回答くださるようよろしくお願い致します。

記

1. 回答期限 昭和55年9月30日（火）
1. 宛 先 情報処理教育センター事務室（添付の封筒をご利用ください）
1. 問合せ先 情報処理教育センター助手室（内線2652）
又は 次長室（内線2561）

* 情報処理教育センター

2. アンケート票の送付・回収内訳

表 2.1 にアンケート票の送付及び回収内訳をまとめている。

表 2.1 アンケート票送付・回収内訳

送 付 先	対 象	送 付 数	回 答 数	回 収 率(%)
文 学 部	学 科 単 位	3	0	0
教 育 学 部	講師以上の教官	14	6	42.8
法 学 部	研究科専攻単位	5	3	60.0
経 済 学 部	経済学科は学科単位, その他は講師以上の教官	16	4	25.0
理 学 部	講師以上の教官	90	29	32.2
医 学 部	研究科専攻単位	5	0	0
歯 学 部	研究科専攻単位	2	1	50.0
薬 学 部	学 科 単 位	2	2	100.0
工 学 部	講師以上の教官	198	62	31.3
農 学 部	学 科 単 位	9	8	88.9
教 養 部	自然科学系は講師以上の教官, 人文・社会科学系は各専攻群単位	73	17	23.3
総合理工学研究科	講師以上の専任教員	21	8	38.1
現 利 用 者	利 用 者 個 人	32	16	50.0
合 計		470	160 (不明 4)	34.0

備考 1) 送付数については、今までの利用実績等も勘案してセンター側で決めたので、必ずしも各部局一様ということにはなっていない。

2) 複数人で一つの回答を寄せて頂いたものは回答数を1としている。

3) 9月30日現在での内訳である。

以下にアンケート事項とその集計結果を示す。回答対象は、全員、利用予定・利用中の人、利用中の人の三種類となっている。質問事項の括弧中の数字はそれぞれの回答数又は意見・要望数を表す。

— 106 —

回 答 象	ア ン ケ ー ト 事 項 (該当の箇所(複数個ある場合はそのすべて)を) ○で囲み、その他必要事項をご記入ください。)
全	4 外国で開発された例えば物理, 化学, 経営等に関する計算機利用の教材を導入した場合使われますか。 a 使いたい(14) b 内容によっては使いたい(71) c 使わない(22) d わからない(53) 導入して欲しい教材がありましたらお書きください。 ・ 物理現象のシミュレータ (2) ・ 化学プラントシミュレータ (1) ・ 経営に関する教材 (1) ・ 自動制御に関する教材 (1) ・ 数値計算法に関する教材 (1) ・ BMDPの利用 (1) ・ SPSSの利用 (1) ・ 制御関係の教材 (1) 5 教育に関する外国の文献データベースを導入した場合使われますか。 a 使いたい(40) b 使わない(25) c わからない(87) 6 専門教育科目に計算機の利用を浸透させてゆくためには、どのような措置を講じたらよいかご意見を おきかせください。 例) 委員会の設置 ・ 教官へのPR, 利用例, 実践例などの紹介 (9) ・ 委員会等の設置 (8) ・ 初心者向け講習会, 教育・研修の充実(経験者の体験談) (5) ・ カリキュラムの再検討(入門教育の充実, 数学教育の強化, 情報処理科目の必修化) (5) ・ 気軽に計算機に取組む雰囲気作り (4) ・ 端末装置等を研究室に増やす (3) ・ 担当教官のニーズを把握する (1) ・ 担当教官のための出向相談員制度 (1) ・ 自然にそうなる (1) ・ 浸透させる必要性があるのか (1)
員	◎ <u>ハードウェア教育について</u> 1 ハードウェア教育を今後行ってゆく予定がありますか。 a はい(11) b 指導者がいれば行いたい(85) c いいえ(99) 2 設備としてどのようなものを希望されますか。 例) マイクロコンピュータ ・ マイクロコンピュータ及び周辺装置 (26) ・ 素子レベルからシステムに至るまでの教材 (1) ・ グラフィックディスプレイ付中型計算機 (1) ・ ミニコンピュータ (1) ・ AD-DA変換装置 (1) ・ プロッタ (1) ・ XYレコーダ (1) ◎ <u>卒業研究での利用について</u> 卒業研究での利用についてどうお考えですか。 a 積極的に利用させる(60) b 余裕があれば利用させる(59) c 利用させないでよい(6) d わからない(10) e その他(7 必要があれば利用させる)

回答対象

アンケート事項

（該当の箇所（複数個ある場合はそのすべて）を○で囲み、その他必要事項をご記入ください。）

全	◎ <u>利用負担金について</u>	
	どの程度の負担が可能かおきかせください。	
	1 卒論学生の場合	1人当たり
		1,000円以下 (0)
		1,000円～ 5,000円 (5)
		5,000円～ 10,000円 (11)
		10,000円～ 30,000円 (26)
		30,000円以上 (23)
	2 一般学生の場合	1学期1人当たり
		0円 (2)
	1,000円以下 (8)	
	1,000円～ 3,000円 (9)	
	3,000円～ 10,000円 (12)	
	10,000円以上 (5)	
員	◎ <u>端局（データステーション）について</u>	
	1 六本松・病院地区にセンターの端局が設置されているのをご存知ですか。	
	a はい(84) b いいえ(73)	
	2 これらの端局を通じて大型計算機センターも利用されているのをご存知ですか。	
	a はい(88) b いいえ(69)	
	3 大型計算機センターの利用の便を図っていることについてどのようにお考えですか。	
	a 現状のままでよい(74) b できる限り独立させた方がよい(12)	
	c わからない(50)	
	4 新たに端局が必要ですか。 a はい(36) b いいえ(69)	
	その際設置経費は設置側で負担されますか。 a はい(15) b いいえ(21)	
員	◎ <u>教務の電算化について</u>	
	1 教務の電算化は必要だと思われますか。 a はい(79) b いいえ(54)	
	2 どの部分の電算化に興味をおもちですか。	
	a 成績処理・調査(66) b 履修管理(52) c 就職等追跡調査(22)	
	d その他(3)	
	3 教務の電算化をどのような組織がやるべきだとお考えですか。ご意見をおきかせください。	
	・ 学生課・教務掛・学科事務室 (15)	
	・ 事務系の組織 (7)	
	・ 事務局（事務処理センター） (3)	
	・ 教務委員会 (2)	
・ 教職員 (2)		
・ センター事務部のような組織 (1)		
・ センターと部局事務と学科事務 (1)		
・ センターと教務電算機担当掛 (1)		
・ センター、事務、教官の委員会 (1)		
・ センターがソフトウェアを提供し、他の組織で運用 (1)		
・ 事務の省力化委員会 (1)		
・ 教務担当者の意識があがること (1)		

回答対象	アンケート事項（該当の箇所（複数個ある場合はそのすべて）を） ○で囲み、その他必要事項をご記入ください。）																																																																	
全 員	◎ 教職員の情報処理教育・研修について 1 教職員の教育・研修施設としてセンターをもっと利用させて欲しいと思われませんか。 a はい(108) b いいえ(81) 2 その他、センターの利用を希望することがありましたらお書きください。 ・ 教職員対象の講習会を開催して欲しい (3)																																																																	
利 用 予 定	◎ 利用計画について 利用計画がありましたらその概要をご記入ください。現在利用中の方は新たに計画のあるものについてお書きください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th><th>科 目 種 類</th><th>科 目 数</th><th>受講者数(合計)</th><th>利用 予 定 時 期</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>例</td><td>a 情報処理入門教育科目 b 専門教育科目</td><td>3</td><td>150 人</td><td>1.5 年以内</td></tr> <tr> <td>1</td><td>① 情入門 b 専門</td><td>2</td><td>120 人</td><td>3 年以内</td></tr> <tr> <td>2</td><td>a 情入門 ⑤ 専門</td><td>2</td><td>80 人</td><td>2 年以内</td></tr> <tr> <td>3</td><td>① 情入門 b 専門</td><td>1</td><td>60 人</td><td>1 年以内</td></tr> <tr> <td>4</td><td>a 情入門 ⑤ 専門</td><td>1</td><td>8 人</td><td>0.5 年以内</td></tr> <tr> <td>5</td><td>a 情入門 ⑤ 専門</td><td>1</td><td>3 人</td><td>1 年以内</td></tr> <tr> <td>6</td><td>a 情入門 ⑤ 専門</td><td>1</td><td>10 人</td><td>0.5 年以内</td></tr> <tr> <td>7</td><td>a 情入門 ⑤ 専門</td><td>1</td><td>30 人</td><td>1 年以内</td></tr> <tr> <td>8</td><td>a 情入門 ⑤ 専門</td><td>1</td><td>20 人</td><td>1.5 年以内</td></tr> <tr> <td>9</td><td>a 情入門 ⑤ 専門</td><td>1</td><td>40 人</td><td>1.5 年以内</td></tr> <tr> <td>10</td><td>a 情入門 ⑤ 専門</td><td>1</td><td>20 人</td><td>2 年以内</td></tr> <tr> <td>11</td><td>a 情入門 ⑤ 専門</td><td>1</td><td>40 人</td><td>0.5 年以内</td></tr> </tbody> </table>	番号	科 目 種 類	科 目 数	受講者数(合計)	利用 予 定 時 期	例	a 情報処理入門教育科目 b 専門教育科目	3	150 人	1.5 年以内	1	① 情入門 b 専門	2	120 人	3 年以内	2	a 情入門 ⑤ 専門	2	80 人	2 年以内	3	① 情入門 b 専門	1	60 人	1 年以内	4	a 情入門 ⑤ 専門	1	8 人	0.5 年以内	5	a 情入門 ⑤ 専門	1	3 人	1 年以内	6	a 情入門 ⑤ 専門	1	10 人	0.5 年以内	7	a 情入門 ⑤ 専門	1	30 人	1 年以内	8	a 情入門 ⑤ 専門	1	20 人	1.5 年以内	9	a 情入門 ⑤ 専門	1	40 人	1.5 年以内	10	a 情入門 ⑤ 専門	1	20 人	2 年以内	11	a 情入門 ⑤ 専門	1	40 人	0.5 年以内
番号	科 目 種 類	科 目 数	受講者数(合計)	利用 予 定 時 期																																																														
例	a 情報処理入門教育科目 b 専門教育科目	3	150 人	1.5 年以内																																																														
1	① 情入門 b 専門	2	120 人	3 年以内																																																														
2	a 情入門 ⑤ 専門	2	80 人	2 年以内																																																														
3	① 情入門 b 専門	1	60 人	1 年以内																																																														
4	a 情入門 ⑤ 専門	1	8 人	0.5 年以内																																																														
5	a 情入門 ⑤ 専門	1	3 人	1 年以内																																																														
6	a 情入門 ⑤ 専門	1	10 人	0.5 年以内																																																														
7	a 情入門 ⑤ 専門	1	30 人	1 年以内																																																														
8	a 情入門 ⑤ 専門	1	20 人	1.5 年以内																																																														
9	a 情入門 ⑤ 専門	1	40 人	1.5 年以内																																																														
10	a 情入門 ⑤ 専門	1	20 人	2 年以内																																																														
11	a 情入門 ⑤ 専門	1	40 人	0.5 年以内																																																														
利 用 中 の 人	◎ 利用形態について 現在、箱崎地区は会話型、六本松・病院地区はリモート・バッチ方式の運用を行っています。 1 箱崎地区のバッチ利用について a 是非希望する(3) b 会話型で不都合な場合のみ利用する(13) c 現状のまま会話型のみでよい(9) d その他(0) 2 他地区の利用形態についてどうお考えですか。 a 現状のままでよい(5) b できる限り会話型に移行する(8) c 会話型とリモートバッチを併用する(14) d その他(0) ◎ 授業形態について 1 現行の又はご予定の授業はどんな形態でしょうか。 a センターで講義と実習と併せて行う(10) c その他(3) b センター外で講義を行い、実習のみセンターを利用する(19) 2 必要な視聴覚機器や大型画面付端末等を備えた講義室をセンターに用意した場合講義等で使ってみたいと思われませんか。 a はい(28) b いいえ(8) ◎ 教育用ソフトウェアについて 1 主として使用するプログラミング言語は何でしょうか。 a FORTRAN(4) b COBOL(3) c PASCAL(7) d PL/I(2) e BASIC(6) f その他(3) 2 利用したい応用プログラムがあればお示しください。 a 数理計画(8) b 日程計画(1) c 統計(13) d シミュレーション(18) e 計量経済(4) f 経営分析(2) g 構造解析(5) h 数値計算(15) i 化工計算(5) j 電子回路網解析(1) k 数値制御(3) l 図形処理(14) m 情報検索(8) n その他(0)																																																																	

回答 対象	アンケート事項 (該当の箇所 (複数個ある場合はそのすべて) を ○で囲み、その他必要事項をご記入ください。)
	8 教育支援ソフトウェアでご希望があればお書きください。 例) プログラミング言語学習システム ・ プログラミング言語学習システム (3) ・ プログラム実行演示システム (1) ・ 教育的FORTRAN (1) ・ 物理現象シミュレーションプログラム (1) ・ 数値計算と収束性 (1)
利 用 予 定 の 人	◎ 教育用設備について 1 講師控室として端末及びマニュアル等資料を用意した部屋があります。利用を希望されますか。 a はい (29) b いいえ (7) 2 その他教育用設備として希望するものがありましたらお書きください。 例) 日本語ターミナル, カラーグラフィックディスプレイ ・ カラーグラフィックディスプレイ装置 (8) ・ 日本語ターミナル及び日本語処理ソフトウェア (4) ・ プリンタ (2) ・ CAI用マイクロコンピュータ (端末兼用) (2) ・ XYプロッタ (2) ・ APL端末装置 (1) ・ スクロール可能な端末装置 (1) ・ ハードコピー装置 (1) ・ ドロウイング可能なグラフィック装置 (1) ・ ポラロイドカメラ (1) ・ 集団教育用スクリーン・ディスプレイ装置 (1) ・ ビデオ及びカセット (1) ・ スライド作成機 (1)
用 中 の 人	◎ 端末について 1 端末を購入してセンターと接続する計画がありますか。 a はい (18) b いいえ (21) 2 接続を計画している端末についておききします。 (1) 時期は a 1年後 (5) b 2～3年後 (7) c その他 (3) (2) 最終接続台数は a 1台 (7) b 2～5台 (6) c その他 (1) (3) 回線速度は a 1,200bps 以下 (3) b 2,400～4,800bps (3) c 9,600bps 以上 (3) 3 端末貸出し制度がありますが利用されますか。 a はい (10) b いいえ (3)
	◎ 教育相談について 利用者の便を図るため、プログラム相談及び利用法等の相談を行っています。 1 学生の利用状況・相談内容等について知りたいと思われますか。 a はい (20) b いいえ (8) 2 教育相談についてのご意見・ご希望をお書きください。 ・ 初心者専任の相談員を置いて欲しい (1) ・ 有限要素法の誤差評価について知りたい (1)
	◎ 教育講演会について 年に1回程度、講師を招いて教育講演会を開催しています。講演内容についてご希望があればお書きください。 ・ 日本語情報処理について (1) ・ データフローマシンについて (1) ・ 有機構造解析について (1) ・ 有限要素法の誤差評価について (1)

回 答 対 象	ア ン ケ ー ト 事 項 (該 当 の 箇 所 (複 数 個 有 る 場 合 は そ の す べ て) を) ○ で 囲 み , そ の 他 必 要 事 項 を ご 記 入 く だ さ い 。)
利 用 予 定 ・ 利 用 中 の 人	◎ <u>教育講習会について</u> 学期の始まりにセンター利用等についての講習会を開催しています。 1 プログラミング言語の講習会を希望されますか。 a はい (28) b いいえ (8) 希望の言語は何でしょうか。 a FORTRAN (15) b COBOL (3) c PASCAL (5) d PL/I (5) e BASIC (4) f その他 (3) 2 講習内容についてご希望があればお書きください。 ・ 機器の使用法について (2) ・ ジョブ制御文について (1) ・ 教育支援ソフトウェア利用法について (1) ◎ <u>教育懇談会について</u> 授業担当の先生方とセンターとの意見交換の場として懇談会を計画しています。 1 開催は a 必要ない (2) b 月 1 回 (0) c 二月に 1 回 (1) d 学期に 1 回 (28) 2 計算機メーカの方を呼んで欲しいと思われませんか。 a はい (16) b いいえ (8)
利 用 中 の 人	◎ <u>広報・利用法等の資料について</u> 1 読んで役立ちましたか。 a はい (28) b いいえ (0) 2 何らかの形で原稿の執筆をお願いできますか。 a できることがあれば (7) b 依頼されれば考える (4) c できない (14) 3 内容等についてご意見・ご希望があればお書きください。 ・ TSS コマンド一覧表の掲載 (1) ・ 利用の手引のようなものの発行 (1) ・ 内容と実情が違っている部分がある (1) ◎ <u>連絡体制について</u> 連絡体制はどうでしょうか。 a 満足 (12) b 普通 (11) c 不満 (1) 不満な点があればお書きください。 ・ 障害に対するメーカの対応が遅い (2) ・ SE が常駐していない (1) ・ 休講、システムダウンの表示が一目でわかるようにして欲しい (1) ・ マニュアルに不備が多く、不備な点に対する情報の流れが円滑でない (1) ◎ <u>使い勝手について</u> 1 計算機システムの使い勝手についてどう思われますか。 a 使い易い (3) b 普通 (14) c 使いにくい (7) 使いにくい点がありましたら具体的にお書きください。 ・ 余分の出力が多すぎる (2) ・ 授業支援システムの操作が複雑であり、エラー処理が不充分 (2) ・ メッセージが分りにくい。 (1) ・ バッチと TSS のファイルが共通でない (1) ・ N6300/20N のキーボードが使いにくい (1) ・ 分りにくいことがあるとき、それを知る方法がない (1) ・ データステーション使用開始時、必ず set up しなければならない (1) ・ 多人数使用時の応答が遅い (1) ・ 使用解説書が実践的でない (1)

回 答 対 象	ア ン ケ ー ト 事 項 (該当の箇所(複数個ある場合はそのすべて)を) ○で囲み, 其他必要事項をご記入ください。)
利 用 中 の 人	2 建物・設備の使い勝手についてどう思われますか。 a 使い易い(7) b 普通(9) c 使いにくい(8) 使いにくい点がありましたら具体的にお書きください。 ・ オープン端末室が狭い, 画面が見えにくい (2) ・ 端末の数を増やして欲しい (2) ・ 講義室が長いので, 黒板が見えにくく, 声がとまらない (1) ・ 空調の音が高い (1) ・ 4階に内線電話を設置して欲しい (1) ・ 4階にマニュアルを多数部配置して欲しい (1) 3 その他運用等についてご意見・ご感想をおきかせください。 ・ データステーションからの入力で読み落しがある (1) ・ 夜間運転を充実して欲しい (1) ・ マニュアル, 資料の貸出し制度をつくって欲しい (1)

センターに対する要望・意見・感想 ・ センターの活動状況, 利用法, 費用分担等詳しい資料が欲しい。 ・ 専門教科で利用する際の手続き及び利用の具体例を知りたい。 ・ 卒論生が利用できる体制を整えて欲しい。 ・ 教職員, 大学院生, 卒論生対象の入門コースを年1回位開催して欲しい。 ・ 非常勤講師の利用を容易にして欲しい。 ・ 全学生が計算機実習をできる体制にして欲しい。 ・ 大型計算機センターとの相違, 互換性等についてももう少し広報して欲しい。 ・ 大型計算機センターを使用している。教育センターを使わなければならないメリットがわからない。更に教育センターまで使う気になれない。 ・ 1200bps の端末を設置して欲しい。電話回線で1,200bps 端末を使用できるようにして欲しい。 ・ 図形読取装置, AD変換装置, オープンMT装置の設置を希望する。 ・ 留学生教育のため実験のシミュレーションを教室で行える装置を設置して欲しい。 ・ TOOL-IR 又はCAS システムを利用したい。 ・ 化学プラントのシミュレータを利用したい。 ・ 実験装置の接続等を考慮したハードウェア教育を期待している。 ・ 情報処理教育はFORTRANだけでない方がよい。 ・ 病院地区端局室に内線電話及びハードコピー又はXY プロッタを設置して欲しい。 ・ 端局との連絡は文書でして欲しい。 ・ 端局との間の回線数増設に支援して欲しい。
--

4. 当面の対応策

前記の集計結果に対して、現時点での対応策を列記すると次のとおりである。

(1) 早急に処置したい事項

- | | |
|-------------|------------------------|
| ① 個々の細かい改善点 | 例えば、端局への連絡方法、掲示、電話の設置等 |
| ② センターのPR | 広報の送付先の拡大、利用のしおりの発行 |
| ③ 講習会の内容充実 | |

(2) 現在検討中の事項

- | | |
|-------------------|-----------------|
| ① SEの準常駐化 | 55年10月より実施 |
| ② マイクロコンピュータの導入 | 55年11月より試験的導入予定 |
| ③ 日本語ターミナルの導入 | 56年3月導入予定 |
| ④ スクリーン・ディスプレイの導入 | 55年12月導入予定 |

(3) 運営委員会で早急に検討すべき事項

- ① 卒論学生の利用
- ② 教職員の教育・研修利用
- ③ 端局・端末装置の設置
- ④ 入門教育を充実させるために六本松地区教育環境の整備
- ⑤ 専門教育科目への計算機利用の浸透策

その他の事項については調査結果を十分に検討し、手のつけられる部分から利用者の希望に添えるよう対策を講じ、かつ将来計画の立案に反映させてゆきたいと考えている。

5. おわりに

調査票発送時には、5人に1人回答を寄せてくれればよいと考えていたが、嬉しいことには最終的に3人に1人の割合で回答を頂くことができた。大変お忙しいところ調査に協力して下さった方々に心からお礼を申し上げたい。

教育センターは、限られた予算とわずか5名の教職員で本学の情報処理教育に対する情報処理サービスを行っている。今回の調査結果を十分活用させてもらう所存なので、今後とも温いご支援とご協力を是非お願いしたい。